

アーカンソー大学交換留学レポート

総合理工学部建築生産設計工学科

井澤 亨

12月に入り、秋学期も残す事あと2週間となりました。今回のレポートでは、主にアメリカでの食生活について報告していきたいと思います。

食生活について

交換留学生は基本的にはミールプランに入ることが義務付けられています。ミールプランは大きく分けて **Unlimited**, **15-Meal**, **10-Meal** の3種類があり、1食を1回とし、それぞれ週に何回学食を利用出来るかを選ぶことが出来ます。学食はバイキング形式なため、1回の利用につき好きなものを好きなだけ食べることができ、飲み物やデザートも食べ放題・飲み放題です。また各プランには **Dining Dollars** というキャンパス内の大学と提携している店で自由に使うことのできるお金も付属しています。例えばキャンパス内にあるスタバでコーヒーを買うときにこの **Dining Dollars** を使って購入することが出来ます。更に、ミールプランにはミールトレードという制度があり、1日に1回に限り、学食での1回分をキャンパス内の提携店での1食と交換することが出来ます。キャンパス内にはハンバーガー、サンドイッチ、ピザなどのファストフードに加え、メキシコ料理、アジア料理といった店も営業しています。僕は基本的に、昼は学食、夜はミールトレードを利用しています。このような感じで食の種類に関しては充実しています。しかし、正直に言うと、どの店も味のクオリティが非常に低く、日本食の素晴らしさが日々、身に沁みます。

ただこれはキャンパス内の飲食店に限った話で、キャンパスから出て **Dickson Street** という飲食店が立ち並ぶ通りに行けば、とても美味しいハンバーガーやサンドイッチなどを食べる事が出来ます。特に **Hugo's** というハンバーガー屋では一口食べたらず肉汁が溢れるハンバーガーを頂くことができ、おすすめです。**Dickson Street** ではレストランのほかにもバーやパブといった酒場もたくさん営業しており、週末は学生や教員、地元の人たちで溢れかえっています。特にアメフトの試合がある日は多くの人がお酒を片手に地元チームの応援をして、盛り上がっています。

次ページにバーの店内の様子、そして先日行われたスタジオの最終発表会の様子を載せておきます。スタジオの最終発表会では外部からのゲストを招いて1人約15分のプレゼンテーションをしました。緊張しましたが伝えたいことはなんとか伝えることができ、また全体の中でも非常に高い評価を得ることが出来ました。プレゼンが終わった後、多くの学生や教員が良い発表だった、とても刺激を受けたと言いに来てくれて、非常に嬉しかったです。

